

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	田口 太郎
連絡先メールアドレス	taguchi0@kyushu-ns.ac.jp
役職・職名	准教授
所属	鍼灸スポーツ学科
略歴	<p>明治鍼灸大学（現：明治国際医療大学） 鍼灸学部 鍼灸学科 卒業 明治鍼灸大学大学院（現：明治国際医療大学大学院） 鍼灸学研究科博士前期課程 修了 九州看護福祉大学 看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科 准教授 (社)日本体力医学会 健康科学アドバイザー (社)全日本鍼灸学会 認定鍼灸師 (社)全日本鍼灸学会臨床情報部安全性委員会 委員</p>
取得学位	学士（鍼灸学） 修士（鍼灸学）
担当科目	生理学Ⅰ／Ⅱ／Ⅲ（講義・演習），きゅう基礎実習Ⅰ／Ⅱ，鍼灸治療所実習Ⅰ／Ⅱ，研究方法論，社会鍼灸学演習，在宅療養支援チーム協働論，卒業研究論文
専門分野	災害鍼灸，鍼灸の国際規格標準，視覚誘発電位
所属学会	全日本鍼灸学会，日本災害医学会，日本統合医療学会，日本体力医学会，日本東洋医学会，日本看護科学学会，日本看護研究学会
現在の研究テーマ	<p>災害鍼灸の役割 疲労の指標としての酸化ストレス度・抗酸化力 鍼灸の国際標準化</p>
教育研究業績 (著書・学術論文等)	<p>鍼灸安全対策ガイドライン 2020年版 医歯薬出版 2020（共同編集） 「鍼治療下の更年期女性における更年期症状の緩和と夜間の自律神経系活性の関連」第46回日本看護研究学会学術集会 2020（共同発表） （単著）「熊本・大分地震災害支援活動報告② ～行政・多職種医療チームとの連携」鍼灸 OSAKA Vol.32, No.1, 111, 2016 Spring （単著）「ISO/TC249 第7回全体会議レポート：初参加の視点から」 鍼灸 OSAKA Vol.32, No.1, p109-115, 2016Summer （単著）震災初期における鍼灸医療の役割，九州看護福祉大学紀要，Vol.12, No.1, 5-12, 2012</p>
社会活動・社会貢献	<p>JLOM(Japan Liaison of Oriental Medicine：日本東洋医学サミット会議) ISO(国際標準化機構)/TC249 エキスパート(WG3・WG4) 熊本地震 鍼灸医療支援（熊本県災害対策本部救護班）</p>